

家づくりプロジェクト

プロジェクト概要

街並みの原点である「住宅」に着目し、八潮で家づくりを考えている人々に連携5大学が協力し楽しみながら家をつくることを目的としたプロジェクト。

市内の子どもたちと「わたしの理想の家」をつくる「ジュニアワークショップ」をはじめ、フィールドワークから得られた八潮らしい特徴をもつ敷地を選定し、住宅モデルの設計を行った。市民の方々と学生と一緒に住宅を設計する「家づくりスクール」は2回開催され、どちらも個性的な計画が数多く生まれた。これらの活動の中で得られた「八潮らしい家づくり」の作法は「やしお家づくりデザインマナーブック」にまとめられている。

2008

フィールドワークプロジェクト
Fieldwork Project

2008.5.31 - 9.15

ジュニアワークショップ
Junior Workshop

2008.9.14 - 9.15

2009

第1回家づくりスクール
"le Zukuri" School

2009.6.6 - 11.21

八潮らしい住宅モデル
"Yashio rashii" House Model

2009.7.25 - 11.22

- ・マスクメロン街区
- ・オカノイエ
- ・八條の角屋
- ・密集イエイエ
- ・町工場と袋小路と家と
- ・オカケンチク
- ・ハウチメリット

2010

ジュニアワークショップ

Junior Workshop

2008.9.14 - 9.15



▲WSに参加した子どもたちと大学生

住宅を考える面白さを伝える

ジュニアワークショップでは、八潮市のリサーチおよび各大学の提案した建築プロジェクトを基に、市内に住む子どもたちと学生と一緒に作り、子どもたちの「わたしの理想の家」を作るワークショップを行った。

八潮らしい住宅モデル

"Yashio rashii" House Model

2009.7.25 - 11.22



▲東北工業大学の提案した『マスクメロン街区』

土地の個性を引き出し住みこなす

八潮市全域のフィールドサーベイから、八潮らしい特徴をもった想定敷地を7つ選び、それぞれの敷地に対して5大学の学生が住宅モデルの設計を行った。どの提案も敷地の個性を活かしたモデルに仕上がった。

T邸プロジェクト

"T House" Project

2013.6 - 10



▲八潮市内に建てられたT邸

八潮らしさを取り入れる

八潮市では、地域に根ざした街並みづくりのコンセプトを取り入れた家づくりの普及を行っている。T邸はこれらのコンセプトを取入れた住宅であり、内部から外構に至る細部まで「八潮らしさ」にこだわった。

2011

2012

2013

2014

やしおのツカイカタプロジェクト "Yashio no Tsukaikata" Project

2008.5.31 - 9.15

T 邸 プロジェクト "T House" Project

2013.6 - 10

- ・ビュラー鎖樋
- ・アスファルト飛び石
- ・ピンコロ石
- ...

やしお家づくり デザインマナーブック Yashio le Zukuri Design Manner Book

2013.4

第2回家づくりスクール "le Zukuri" School

2012.6.6 - 11.21

- ・庭とつながる家
- ・スキップフロアの家
- ・おおきな円側の家
- ・風の通る家
- ・大テラスの家



▲やしお家づくりデザインマナーブックに
基づいた住宅が完成

家づくりスクール "le Zukuri" School

第Ⅰ期 2009.6.6 - 11.21
第Ⅱ期 2012.7.15 - 12.2



▲2009年度家づくりスクール ▲2012年度家づくりスクール

理想の住宅を考える

2008年度のフィールドワークから八潮らしい特徴をもった敷地を選定し、市民の方々と学生が4回のスクーリングを通して、『地域の特色を活かした家』『住んでみたい家』『建てたい家』の設計を行った。

やしお家づくりデザインマナーブック Yashio le Zukuri Design Manner Book

2013.4



▲八潮街並みづくり100年運動の紹介から、実際の家づくりスクールで生まれたアイデアなどが紹介されている

「八潮らしい」家づくりのマナーを紹介

市民の方々と街並みの原点である「住宅」に着目し、八潮で家づくりを考えている人が楽しみながら住宅をつくることで街並み形成に取り組めるよう、「やしお家づくりデザインマナーブック」を作成。八潮街並みづくり100年運動を進める中で5大学から提案された「家づくりのアイデア」を掲載し、八潮で家を建てる際に配慮する「マナー（作法）」を紹介している。また、八潮市では「やしお家づくりデザインマナーブック」に基づく住宅の普及を目的とした「八潮らしい街並み景観形成支援補助制度」を創設（2013年度～）した。2014年度には、このマナーブックに基づいた住宅が誕生した。



リサーチからプロジェクト、ワークショップへ

自転車を使って八潮の街のリサーチを行った。参加している5大学の学生が市内をくまなく走り、特徴的な場所を採取、その後ディスカッションを行い、各大学がリサーチから得られた発見や課題を建築プロジェクトとして制作した。各大学が制作したプロジェクトを土台にして、市民の方々とディスカッションする討論会を行った。市民の子どもたちが建築家となって学生たちと「わたしの理想の家」をつくるワークショップは、参加した子どもたちなど参加者に住宅を考える面白さを伝えた。



▲学生が自転車によって市内をくまなくリサーチする

▲市民との意見交換会

子どもたちの考える「夢の家」

子どもたちが考える理想の住宅には、クワガタ虫型の家やトランポリンを使わないと入れない家など豊かな発想のものが多くみられた。中には"緑化"や"環境に配慮したエネルギー"を考えたエコ住宅の提案もあり、環境問題に対する子どもたちの関心の高さが垣間見られた。子どもだけでなく、学生、先生にとっても有意義なワークショップとなった。



▲ジュニアワークショップの様子

土地の個性を引き出し、楽しんで住みこなす

八潮市全域から、八潮らしい特徴をもったモデルとなる敷地を7つ選定、各敷地にそれぞれの大学が住宅モデルの設計を行った。『オンリーワンの住宅モデル』『住みこなす楽しみ』『個性に＜理由あり＞』『建築家・大学研究室とのコラボレーション』『まちに参加する住まい』という特徴をもった個性的な住宅モデルが仕上がった。



▲八潮らしい特徴をもつ7つの敷地

▲敷地をプロットしたマップ

6 『オカケンチュウ』

八潮には盛土が多く、平坦な街に土という自然のものが変化をもたらしています。この盛土は地盤改良の為のものであり、廃棄されることが多いようです。しかし、八潮の駅周辺に新しい建物ができていくことに合わせて、この丘のような風景を消してしまうのではなく、盛土と共に暮らすことができる集合住宅を提案します。

ポイント

- オカと庭とが植栽で分けることで、緩やかに連続する広々とした場所になる。
- 外で食事をするなど天気の良い日には、八潮の風景を楽しむことができる。



▲日本工業大学が考えた住宅モデルの1つ

「八潮らしさ」を取り入れた住宅

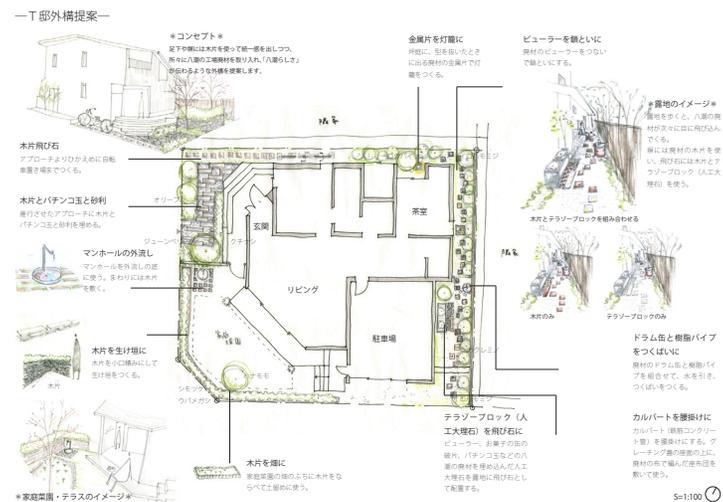
2008 年度から続くフィールドワークや、2012 年度に行った『工場革命』プロジェクトなどから得られた「八潮らしさ」を取り入れた住宅を設計した。調査の際に八潮の産業とその廃棄物を把握することで、それらを住宅に結びつけた。街並みづくりのコンセプトである『つながり』を意識して、工場から出る廃材を利用するとともに、八潮の土や植物を使用することで、細部まで八潮らしさにこだわった住宅となった。



▲実際に竣工した T 邸

八潮の材料を使った外構、茶室計画

T 邸の外構や茶室には、八潮にある工場から出る廃棄物の中から利用可能なものを選別して利用している。鎖樋（くさりどい）には世界一のシェアをほこるビューラー工場から出る不良品を再生利用するなど、八潮の材料を様々な工夫、加工し住宅の内外に利用している。



▲学生の考えた T 邸の外構計画

神奈川大学

Proposal
- 建具

ツインカーボとシナベニアで棚の扉を製作した。2種類の扉が棚に独特のリズムを与えている。ツインカーボの建具は、明障子のように柔らかに光を透過する。



Proposal
- 茶室

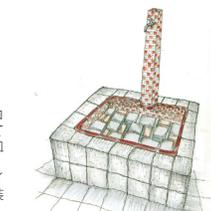
市内で採れた材料を使用することにこだわった茶室。市内の土を使用した土壁は、土を焼くことで色味を変化させた。天井は、市内の工場である平澤製作所のビューラーの廃材を紐で縫い合わせ製作した。



神戸大学

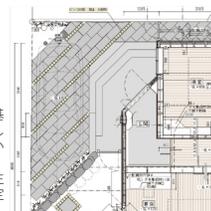
Proposal
- 外流し

廃材の御影石ピンコロ・ブロックを使って外流しを囲い、受け皿にも敷き詰めた。合わせてモザイクタイルを使い、水柱柱に装飾を施した。



Proposal
- 玄関アプローチ

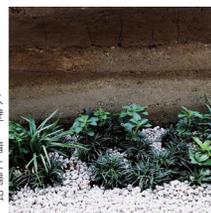
コンクリート平板を基調に、アクセントとしてピンコロ石を敷いた。配列の角度は玄関や生垣のラインを基準に定めている。



東京理科大学

Proposal
- 版築

茶室からのアイ・ストリップとして版築の壁を提案した。土のやわらかい表情と、テーパーを付けた不均一な壁面による陽光の反射が、茶室に独特の雰囲気を与える。



Proposal
- 植栽・瓦土留め

路地の奥行きにしたがってシマ状に植栽を点状させた。各シマには視覚効果を考慮して四季折々の花々を配置した。また、瓦土留めによって植栽を仕切ること路地のアクセントにした。



日本工業大学

Proposal
- 書斎棚

書斎で使うために考えられた棚。色は床と合わせたものになっている。棚の高さは机と揃えて使えるようにしてある。リビング側からも使えるように背板が中央にある部分もある。



Proposal
- 駐車場棚

室内にしまいきれない道具や家庭菜園で使う道具を収納するための棚。壁に沿って屋内用、屋外用と分けて設置した。様々なものに対応できるように幅広い棚にし、長いものも収納できるように縦長の棚も設けた。



信州大学

Proposal
- ビューラー鎖樋

茶室横の雨樋は市内の工場である沼澤製作所のビューラーの廃材を組み合わせて製作した。組み合わせ方や配列を調整することでオリジナルかつ八潮らしい鎖樋を目指した。



Proposal
- アスファルト飛び石

露地には飛石を敷き、茶室へのアプローチを演出した。アクセントとして廃材のアスファルトを使い、道のりなかに八潮らしさを取り入れた。



家づくりスクールとは？

八潮市で家を建てたいと考えている市民の方が受講者となり、「八潮街並みづくり100年運動」に関わる5つの大学と共に、希望の家づくりを考えるワークショップを行った。スクールでは、受講者の要望を基に具体的な間取りまで検討し、八潮らしい家の設計を行った。

第1期家づくりスクール(2009年度)

第1回 2009.6.6

「家づくりのための講座」を開催。市民の方々8組をクライアントに、連携5大学の学生を設計者に見立て、「住んでみたい家」「建てたい家」を考えるワークショップを行った。茨城大学の寺内美紀子准教授(現信州大学准教授)による家づくりに関する講演の後、受講生と学生の顔合わせ、間取りの打ち合わせをし、現地調査を行った。

第2回 2009.7.26

東北工業大学の槻橋修講師(現神戸大学准教授)による「家づくりから始めるまちづくり」についての講演後、第1回のスクールでの打ち合わせ内容を基に、各グループが図面や模型を用いて、受講者の方々に提案を説明した。その後、提案された住宅について各グループで打ち合わせを行った。

第3回 2009.8.22

2回目の提案となったこの回では、各住宅の大体の間取りが決まり、細かな部分の調整が行われた。プランや天井高、また光の取り入れ方といった具体的な検討をし、最終的に提案する住宅の形が見えてきた。

第4回 2009.11.21

家づくりスクール最終回。8つのグループが考えた住宅の最終提案の発表を行った。それぞれの班で受講者と学生とが打ち合わせを行った結果、敷地の読み込みから、周辺環境の取り込み方などを踏まえた、個性溢れる8案が仕上がった。受講した方々のうち1組が、このスクールで設計した八潮らしさを取り入れた住宅の建築に至った。

発表後には、受講生の方々に5大学の先生が修了書を贈呈した。



▲家づくりスクールの様子

Yashio Housing School 2009



▲受講生に渡された修了書

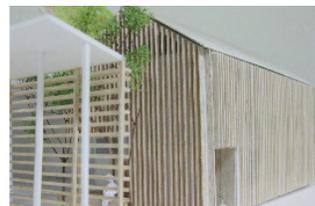
1 | 内/外 日本工業大学

この家は100坪の敷地を全体的に使うこと、天井の高い開放的なリビングと来客用の和室、洋風の外観といった要望を基に計画された。建物の外側全体をベランダで縁取り、内側には吹き抜け、庭には東屋を配置して中のような外、外のような中を実現して敷地の空気感を満喫できる。



2 | モコモコプラットフォーム 東北工業大学

市内で材木店を営む住宅の二世帯住宅化と雑貨屋の改装計画。新築(増築)部分を中心とした住居・店舗・卸しの共通の認識をつくり出すプラットフォームのような建物を設計した。木の良さを最大限に感じられるような外観と緑がセールスポイントとなっている。



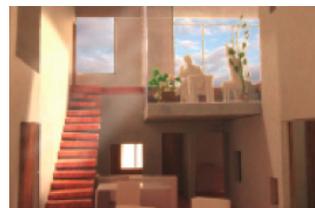
3 | 風のすまい 信州大学

施主は具体的な建替への予定はないが将来の家の構想のために参加した。様々な要望の中から草の屋根を用いて室内の温度上昇を防ぎ木漏れ日をもたらし、風の部屋や土の寝床で環境に優しく快適な空間を実現といったアイデア満載の家が出来上がった。



4 | 空中庭がある家 神奈川大学

夫婦2人のための家。まずは敷地選びからスタートし、外の視線を気にせず生活できる、収納がたくさんある、明るく広いリビング、風通しがいいといった要望を基に計画された。空中庭と3.3mの大きな窓を設ける事で北側接道でありながら、光をふんだんに取り入れられる家となった。



5 | サンプルームをもつ親子 茨城大学

老後の一人暮らしを想定するクライアントのための建替計画。バリアフリー、平屋等といった要望の中で特に賃貸アパートも一緒に建てて貸し出したい、という特徴があった。サンプルームが設けられた施主の家とアパートを親子に見立て構成し、緩やかな関係性を生み出す。



第II期 家づくりリスクール(2012年度)

第1回 2012.7.15

5組の受講生と5大学で、希望する家づくりに向けて家づくりリスクールを開校。今回の家づくりリスクールでは、敷地の中に、市の所有する保留地があったことが前回のリスクールと異なる点である。第1回は顔合わせや敷地調査などをメインに行った。

第2回 2012.9.1

第2回の家づくりリスクールでは、1回目のリスクールでの受講生の希望に基づく住宅の設計図を学生が発表し、協議を行った。その後、寺内美紀子准教授(信州大学)が「八潮での家づくり」の講話を行った。

第3回 2012.10.21

3回目のリスクールでは、最終回の家づくりリスクールに向けて具体的な形が見えてきた。2回目のリスクールでの提案に対する受講生の要望などが反映され、具体的に家をつくることの楽しさを、受講生だけでなく学生もわかってきた。

第4回 2012.12.2

家づくりリスクール最終回。5つのグループが考えた住宅の最終提案の発表を行った。それぞれの班で受講者と学生とが打ち合わせを行い、敷地の読み込みから、周辺環境の取り込み方などを反映した、個性溢れる5案が仕上がった。

発表後には、受講生の方々に5大学の先生方から修了書が贈呈された。



▲家づくりリスクールの様子(第2回)



▲家づくりリスクールの様子(第4回)

1 | 庭とつながる家

日本工業大学

仕切りのない明るい家、自慢のガーデニングが室内から眺められる明るいリビング、といった要望を基に計画された住宅。リビングルームを庭に開くことで、内外をゆるやかにつなぐ心地よい空間を生み出し、風が通り抜ける空間となっている。



2 | 大テラスの家

神戸大学

広い庭を活かした開放的なリビングという要望と、南北に短く、東西に長い敷地の特徴を活かし、東西に長いリビングダイニングとした。インナーテラスを設けることで、庭を住宅内部にまで引き込むと共に、奥まで光を引き入れ、南側の庭をより広く取れる計画となっている。



3 | おおきな円側の家

東京理科大学

既存建物を残したまま敷地内に新たな住まいを建てる計画。母屋との行き来が気軽にできるようにという要望から、建物を少し斜めに配置することで、既存母屋と増築建物の中庭のようなスペースをつくった。円側はこの空間に新しい魅力を与え、母屋との程よい距離を保つことにもつながる。



4 | スキップフロアの家

神奈川大学

2世帯が暮らす住宅の計画。家族を感じながら料理をしたいという受講者の要望を受け、上下階を結ぶ場所にある「リビング・キッチン・ダイニング」は2世帯の生活を穏やかにつなぐ場とした。次世代への移行といった長期的な時間の変化に対応できる住宅とするための、重要な場所でもある。



5 | 風の通る家

信州大学

川に近く広い敷地を活かして、風を感じられる開放感のある家、という要望を基に計画された住宅。外から家の中へと続く空間を設け、内部に風の通り道をつくりだし、魅力的なアプローチ空間とすることで、ホールと一体となった広々とした空間となる。



やしお家づくりデザインマナーブック Yashio le Zukuri Design Manner Book

やしお家づくりデザインマナーブックとは？



▲表紙、目次のページ

魅力ある街並みづくりには、住まい手が主体的に街並み形成に取り組むことが大切。そこで、市民の方々と街並みの原点である「住宅」に着目し、八潮で家づくりを考えている人が楽しみながら家をつくることで街並み形成に取り組めるよう、「やしお家づくりデザインマナーブック」を作成した。

各章の紹介

1. 八潮らしく、家をつくるということ



▲5人の建築家の対談が掲載されている

「1. 八潮らしく、家をつくるということ」では、「八潮に住むことの魅力」から見てくる「八潮らしい家づくり」のヒントを、連携5大学の先生が述べている。家づくりの面白さから八潮の魅力、家づくりのコンセプトでもある『つながり』をどのように捉えるか、また八潮ならではの「家づくり」の楽しさなど、様々なテーマについてディスカッションしている。5人の建築家が感じる「八潮らしさ」が、議論を通して伝わってくる。

2. 八潮ではじめよう家づくり



▲100年運動のことや八潮の魅力に触れられている

「2. 八潮ではじめよう家づくり」では、『やしお家づくりデザインマナーブック』の生まれた背景や目的に触れつつ、市内での新生活を考えている方々に向けて八潮についての情報を提供している。交通や買い物の利便性や町工場のことなど8つの魅力を紹介している。

3. 家を建てる前に



▲家づくりを考える上での考えるべきことなどを紹介

「3. 家を建てる前に」では、家づくりに対するイメージを具体的にまとめていけるよう、様々なワークシートが掲載されている。八潮での情報収集の方法や法規制についても紹介している。

